

# 市民活動の新たな拠点

## 10.14 市民交流プラザ オープン



小山田市長や市民交流プラザ設計者の隈研吾さん（写真右端）ら関係者によりテープカットが行われました

### スモールオフィス



NPO法人や市民活動団体、社会教育関係団体を対象としたデスクワークができるスペースです。作業場所とロッカーをお貸しします。

### 総合案内



館内の利用に関する総合案内所です。遠慮なくお立ち寄りください。

### プレイルーム



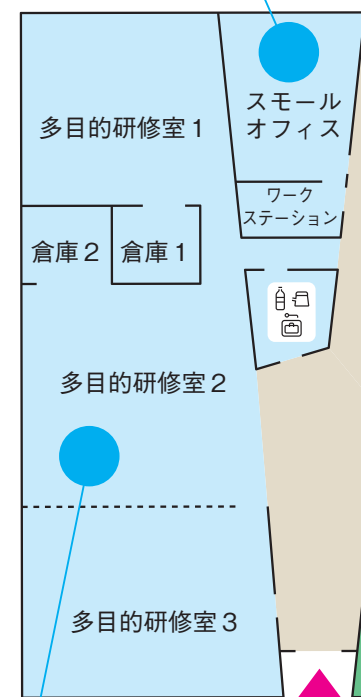
小学校低学年程度を対象とした遊び場です。さまざまな遊具があります。

### キッチンスタジオ



料理教室などに利用できます。会議室としても利用できます。

### ①市民活動支援ゾーン①



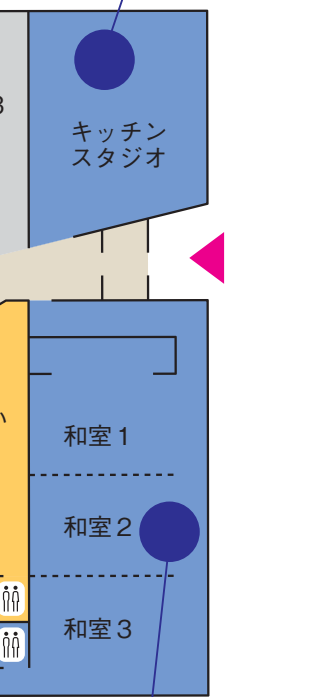
### ②社会福祉ゾーン たまり場ゾーン



### ③子育て支援ゾーン



### ④市民活動支援ゾーン②



### 多目的研修室1～3



研修会や会議などに利用できます。研修室2と3との可動間仕切り壁を開放すると一体で利用できます。

### 展示室



市民のかたがたの作品や、アーティストの作品展示など幅広い展示利用が可能です。

### 親子ふれあいスペース



乳幼児を対象とした遊び場です。

### 和室



3部屋が障子で仕切られています。稽古や会議の場として利用できます。

### …プラザ出入口

この建築は、十和田市まちづくり計画の一環として「教育プラザ」および「市民交流プラザ」の二つの施設が、住民福祉の向上や生涯学習環境の充実、中心市街地活性化に資するものとして整備されました。

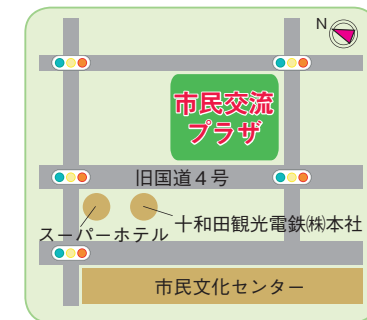
敷地は街の中心にある商店街に面しており、市民交流の促進、にぎわい創出などの拠点施設として複合的に計画したものです。

われわれは、新しい交流の場をテーマに、みちと広場を融合させ、にぎわいを引き込みながらコミュニティを育む共用空間「みちの広場」を持った市民交流プラザを提案しました。

みちの広場に沿って、子どもたちが安心して遊べるプレイルーム、幅広い展示が可能な展示室、市民活動を支える研修室やスモールオフィスなどを配置し、地域と繋がるネットワークを生み出します。



市民交流プラザ設計者 隈研吾さん



### 市民交流プラザ 概要

☎019-5670・FAX019-5671

- ▶住所 十和田市稲生町18番33号
- ▶休館日 年末年始 (12月29日～1月3日)
- ▶開館時間 午前9時～午後9時
- ▶駐車台数 70台
- ▶駐輪台数 45台



1 セレモニーには多くの関係者が参加、新施設誕生を祝いました  
2 列をなして一般公開を待ちわびるかたがた  
3 隈研吾さんをはじめとする工事関係者に感謝状を贈呈  
4 来場したかたがたに、市茶道協会の皆さんがお茶を振る舞いました

交流の輪が広がり、にぎわいを創出

市中心商店街を歩いていると、青森スギの間伐材をふんだんに使った壁面と中の様子がよく見えるガラス張りの新しい建物、「市民交流プラザ」が目に入ってきます。

プラザは「みちと広場を融合させたにぎわいの広場」をコンセプトに、老朽化した中央公民館などの施設を統廃合し、市民交流の促進、福祉の向上、にぎわい創出の拠点施設であり、中心市街地活性化の一翼を担う施設として整備されました。

施設は世界的な建築家、隈研吾さんが設計し、街並みと融合する外観、市民が自由に行き交う交流機能を備え、市民の活動が商店街から見えることで情報発信につながる建物となっています。

10月14日に行われたオープニングセレモニーには関係者約60人が出席。小山田市長らがテープカットをし、新施設誕生を祝いました。

式典終了後には、プラザ内の一般公開が行われました。多くの市民が詰め掛け、木の香りが漂う新しい施設をじっくりと眺める姿が見受けられました。